

—懇親会—

第30回日臨皮総会懇親会

事務局長 **鎌田英明**
(JCHO 横浜中央病院)

学会に参加する楽しみは、何も新たな知識を得る勉強だけにあるとは限りません。その土地の有名な景勝地を訪ねたり、その土地を代表する名物料理や地酒に舌鼓をうったり、土地の匂いのする演芸を楽しんだりすることも楽しみの一つだと言えます。それらを一度に楽しめるのが懇親会の一つの大切な役目で、学会参加者の多くが楽しみにしているプログラムの一つだと私は思っています。

そんな私であることをしっかり見抜いていた栗原誠一会頭から暗黙の指令で「宴会係」を仰せつかることになりました。

最近の日臨皮総会を見ていると、大分参加人数も多くなり、時にはすれ違うのもやっという状況に出くわすことも珍しくなくなりました。3年前にパシフィック横浜に学会場を申し込みに行った際に、施設の一つである体育館のような巨大なホールも懇親会場として併せて予約をしました。

しかし、そこでは会場までの動線が長すぎる、悪天候になった場合には屋外を通るため問題がある、料理がケータリングとならざるを得ない、などの難点がその後見えてきたため、千数百名は入れる東急ベイホテル（当時はパンパシフィックホテル）を会場とすることに変更しました。

会場さえ押さえてしまえば一安心と、特に何もすることがない日々が長らく続き、そろそろ学会のプログラムも煮詰まってきた頃になって、懇親会のことが何も決まっていないことを思い出しました。

料理はホテルにお任せするとして、出し物をどうしようかということになり、急遽総務の川口博史、河原由恵先生、それに渡辺知雄先生に加わっていただき泥縄委員会を開催しました。



栗原会頭挨拶



鏡開き



乾杯



司会の宮崎さん (元NHKアナウンサー)

第29回総会の名古屋で、「横浜と言えばジャズでしょう」と言われたのが頭に残っており、音楽はジャズとすんなり決まりましたが、問題は出し物でした。中華街の蛇踊りという案もありましたが、食事中にホコリをまき散らすことにもなりかねない、更にはスペース的にどうだろうという懸念も出て却下になりました。スペースということから、近年横浜名物になってきている大道芸が案として浮上りました。これに30周年を記念する鏡開きを加えれば完璧であろうということになりました。

ここで大活躍していただいたのが渡辺先生でした。医師会で懇意にされておられる某先生が、関内近辺にあ



懇親会風景①



懇親会風景②



懇親会風景③



ファンファーレ部隊



ポスター賞授与式



「案内標識」をしているun-pa

るライブをやっている何軒ものお店にお詳しいということから、プロデュースをお願いしていただいたところ、バンドと共に6人もの女性ボーカルを揃えていただけることになりました。

もう一つの大道芸も、渡辺先生が事務所に掛け合ってください、吟味した4組にパフォーマンスをお願いすることが決まりました。

さて、アイテムは揃いましたが、これをどうアレンジするか。最初は単純に並べて終わりと考えていなかったかと言えば嘘になりますが、これを順序立てて、会頭の開会宣言からエンディングまでの進行をまとめてくださったのが、司会をお願いした元NHKアナウンサーの宮崎綾子さんでした。

ひょんなことから伝手があり、司会をお願いすることになった宮崎さんですが、「進行台本」なる私たちに聞きなれない台本作りからご指導をいただき、また簡単に考えていた鏡開きの作法も詳しく教えてくださり、更には樽を開いてから乾杯までのスマートな流れなども考えていただけたのはラッキーでした。

ところがこの期に及んで、会頭がファンファーレを合図に登壇したいと、これまたファンタスティックな希望を言い出され、どうしたものかと頭を抱えていたところ、これもまた渡辺先生を介して前述の某先生が、5



クラウンJUKA



桔梗ブラザーズ



江戸あやつり人形



松井絵美



カイラ



さやか

名の管楽器部隊を招請してくださり、まさかの展開となったことは皆さんご存知の通りです。

苦勞しながらも準備が整いましたが、天気はどうなのだろうか、料理の準備のためには参加者はどのくらいと考えるとよいのだろうか、何か忘れていないことはないか。学会自体は齊藤実行委員長に任せっきりで、開催前は胃が痛くなりそうな日々を過ごしました。

いよいよ当日となり、約束通りに大道芸の皆さんがパフォーマンスを始め、参加者も続々集まってくる様子を目の当たりにしたときにはホッとしました。肝心の開場を知らせるファンファーレが、外で待っていた方々には聞こえなかったという残念なこともありました。開場した後は宮崎さんの軽快な司会で流れるように会は進行し、地味かと思われた大道芸も結構受け、ジャズコンサートも出てくる歌手たちが美形であったことも幸いしてか、予想以上の盛り上がりを見せて最後の「世界に一つだけの花」の大合唱でお開きになるまで、中弛みすることもなく一気に会が進行しました。いつになく最後まで会場内に多くの参加者が残っていたのが印象的で、楽しんでいただけた証と一人ほくそ笑んだ私です。



SAYURI



Mayu&ひかり



「世界に一つだけの花」大合唱



皆も大合唱



浅井副会頭中締め挨拶
次回会頭川嶋先生（中央）、次々回会頭佐藤先生（右）



無事終了